

令和4年度 活動予定

令和4年3月5日(土)

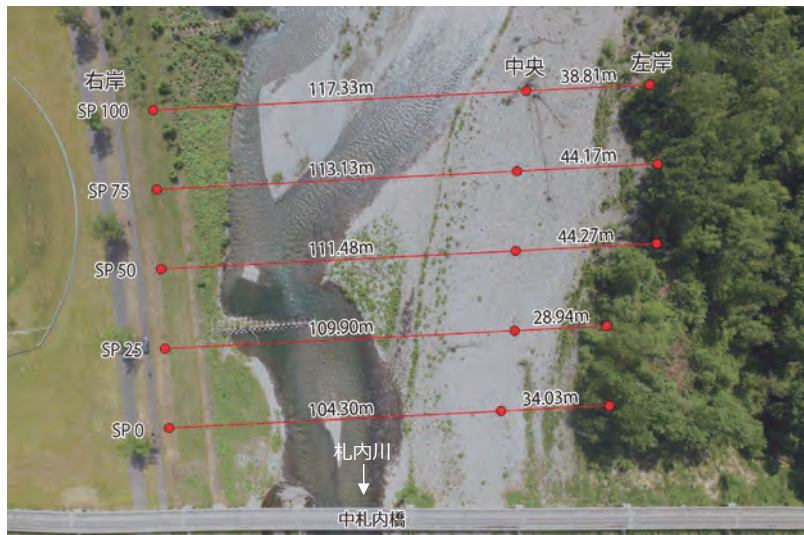
十勝川中流部市民協働会議

令和4年度の活動メニュー

No.	活動内容	備考
1	札内川自然再生モニタリング 測量	帯広工業高校1年生
2	・河畔林の再樹林化防止 播種・モニタリング ・タンチョウ給餌場設置	// 2年生
3	地域防災 講習・実習	// 3年生
4	湿地再生モニタリング 魚類	帯広農業高校
5	十勝川かわまちづくり	千代田堰堤展望公園 十勝エコロジーパーク
6	「いい川・いい川づくりワークショップ」参加	開催地は未定
7	川で遊ぼう 札内川・光南地区水辺の楽校 開催	光南水辺の楽校
8	ウツベツ川のかわづくり	厚生病院前の親水護岸
9	相生中島 旧ワッカの池復元	相生中島地区

帯広工業高校活動支援－1

- 札内川自然再生モニタリングのサポート(測量)



帯広工業高校活動支援－2

- 河畔林の再樹林化防止活動(播種・モニタリング)
- タンチョウの給餌場設置活動



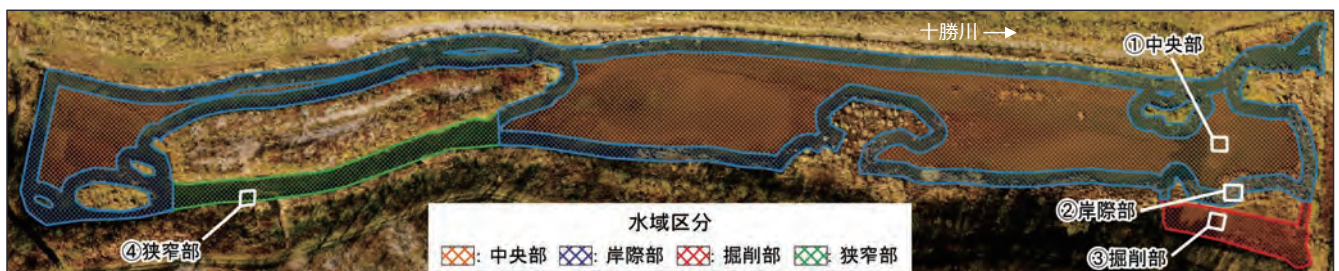
帯広工業高校活動支援－3

- 地域防災学習活動(講習・実習)



帯広農業高校活動支援

- 湿地再生モニタリング活動 (魚類調査)



十勝川中流域かわまちづくり

- 川づくりと地域振興に寄与します。
- 「持続可能な生活」を体現していたアイヌ文化に学びます。

十勝川サロルンリムセ
(千代田堰堤展望公園にて7月9日予定)



「十勝いけだ屋」と連携して移動販売店を出店、水辺をにぎやかにします。

十勝川アシリチェプノミ
(エコロジーパークにて9月11日予定)



「特区」として河川敷での商行為ができるようになりました。民芸品、軽食等も販売します。

いい川づくりワークショップ 参加

- 第14回「いい川・いい川づくりワークショップ」の開催地は未定です。



川で遊ぼう 札内川・光南地区水辺の楽校

- 水生動物観察会等の実施



ウツベツ川のかわづくり

- 親水護岸周辺の維持管理



- 環境学習
(水生動物観察会等)



相生中島地区



・「相生中島上流湿地」は副産物

1. 洪水流の流下断面を確保するために河道内の樹木を伐採した。
2. 再樹林化により再び流下断面不足となるのを防ぐための手段として、冠水させることを選択。
3. 常時水面が確保される深さまで掘削したことで水域が形成され、結果的に湿地状の環境を呈するようになった。

・水域の維持

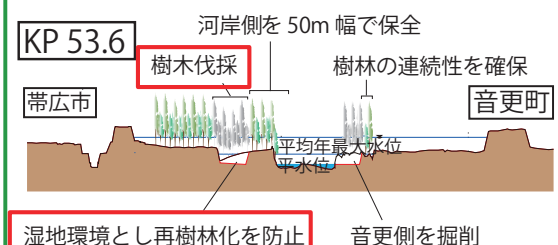
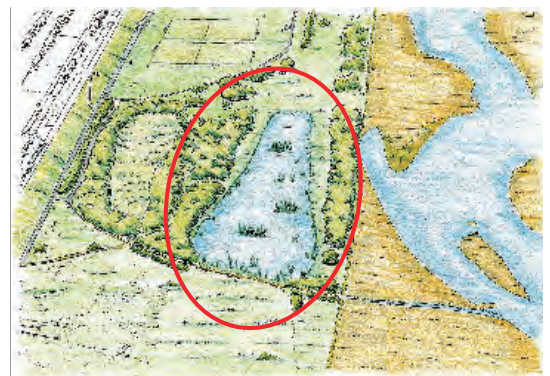
高水敷に達するほどの出水があった場合には、水域内への土砂堆積が起こり、水域が縮小して行く。



バックホーを定期的に入れて堆積土砂を除去すると同時に外周部に芽生えたヤナギ実生に覆土、窒息させることで水域を維持している。

合意事項 [相生中島上流右岸]

- ・右岸の河岸側の樹林を幅50mで保全し、その背後地の樹林を伐採。
- ・再樹林化を防止するために、掘削して湿地環境を形成する。



・環境側面から見た「相生中島上流湿地」の価値

- ・十勝川水系では、開拓期から湿地を農地化するための排水事業が行われてきたため、特に十勝川中流部に於いては湿地環境が極めて減少した。
- ・水域の造成から約10年が経過した現在では、水域の外縁部にガマやサジオモダカ等の抽水植物が生育するようになり、ジュズカケハゼやトゲウオの仲間、ヤゴ等の水生動物、オタマジャクシ等のほか、水鳥(カモ類)の利用も見られるようになった。
- ・都市近郊にあって、高校生の学びの場として利用されたり、アイヌ民族が儀式に使うゴザの原料(ガマ)が供給できる場所だったりと他の地域では得難い、市民にとって貴重な場所となっている。



- ・現在活動している「上流湿地」と同様に、「ワッカの池」跡地を「ワンド」として復元したい。



・なぜ「ワンド」を復元したいのか？

- ・「上流湿地」と同様に、市街地からのアクセスが容易で、市民が活動する場所として都合が良い。
- ・河道内の再樹林化を抑制することが必要な箇所なので、「上流湿地」と同様に水域を維持する作業を定期的に行うことで、再樹林化の抑制に貢献できる。

※自然の営みの中ではワンドは長くは持続しない(埋塞する)が、ここでは、市民が定期的にメンテナンスすることで維持していく。

- ・ワンドは流れと接続した水域なので、上流湿地(閉鎖水域)とは環境が異なる。一緒にモニタリングを行ってくれる高校生にとって新たな知見を得る機会となる。
- ・国が取り組んでいる「SDGs」の目標(15.陸上資源)達成に寄与できる。

相生中島での令和4年度の活動

- 道路の整備
 - ・ ワッカの池跡地までの通路の補修
- 地形の測量
 - ・ UAV等で測量し現況を把握
- ワンドの復元
 - ・ 現況を踏まえた上で河川管理者と協議の上、可能な範囲でワンドを復元
- 水域の維持
 - ・ 「上流湿地」と同様に定期的なメンテナンスを行って水域を維持して行く

